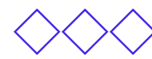


塾をお探しの保護者の方へ



学習塾ゼスト 生徒&保護者の

通塾体験記

をお届けします！

通塾体験記 ① 進学先：県立和光国際高等学校（普通科）

私がゼストに入塾したのは、中学2年生の夏です。ゼストに入塾するきっかけは、母がゼストのチラシを見て、私に勧めてきたことでした。正直なことを言うと、初めは嫌でした。チラシでは「頑張る」とか「向上心」といったことが強調されていたからです。それでも体験に参加して損はないと思い、ゼストへ行きました。2週間の仮入塾を終える頃には気持ちが変わり、ゼストに入塾することを決めました。最終的に入塾を決めた理由は、塾の方針が自分にあっていると考えたからです。

入塾後は、学習時間が増えて内容が濃くなりました。定期テストでは学年順位が18位から10位まで上昇するなど、成績は上がりました。私はゼストで本当に大切なことをたくさん学びました。先生に怒られたことだってありますが、先生はただむやみに怒っていたのではなく、きちんとした「理由」があったのだと思います。私が第一志望校合格という目標を達成できたこと、そして人間として大きく成長できたのは、ゼストのおかげです。決して楽ができる場所ではありませんが、自分の中の何かを動かしてくれる素敵な場所であることに間違いのないと思います。

高校進学後は、憧れていた和国で、大好きな英語をより確かなものとして身につけていきたいと思っています。そして学年では上位の成績をキープし、大学進学に向けて、最初から頑張りたいと考えています。

通塾体験記 ②

進学先：星野高等学校（S類特進選抜）

1年生の夏、中学での自分の成績にまったく納得のいっていなかった私は塾に通うことを決めました。以前、姉がゼストに通っていたことから、ゼストへの入塾を決めました。

1、2年の頃の私は、部活で疲れて、塾でだらけてしまっただけで、先生からは何度も叱られていました。塾への嫌気だっただけでしたが、私がゼストに残り続けたのは、先生の授業を受けることに確かな手応えを感じていたからだだと思います。

本格的に勉強に取り組み始めたのは3年になってからだったと思います。私はぎりぎりまで受験校を決められていませんでしたし、勉強面でも多くの問題を抱えていました。でも、私は諦めず、勉強して勉強して、問題を解消していきました。そして、ついに志望校に合格することができました。

勉強している最中は辛く思えてきますが、私の成績が上がっていったのは確かですし、良い結果を見る時は、大きな達成感を得ることができました。また、勉強を続けていく中で、計画性が身についたと思います。後になって気づいたのですが、1、2年のときに私を見捨てないでくれたこと、自粛期間中はオンライン授業を行ってくれたこと、入塾した時から今まで、成長する私のそばには、いつもゼストの存在がありました。高校進学後も、ゼストでの経験がきっと私を導いてくれると思います。

通塾体験記 ③

進学先：日大豊山女子高等学校（普通科N進学）

ゼストに入る前は、家庭教師の先生に教えてもらっていましたが、なかなか成績が上がらず、塾に入る必要があると思い、入塾を決めました。それまで夜に勉強をする習慣がなかったのが、慣れるまではとても大変でした。家に帰ってから、ご飯を食べ、お風呂に入る。部活に力を入れていた私には少し辛いと感じる生活でした。ですが、入塾から2か月くらいで週2回の授業に慣れ、勉強する習慣も身につけていきました。授業で習ったことは次の週の確認テストの範囲になります。確認テストに向けて復習をすることで、自然と学習内容が身につけていきました。また、定期テスト対策では、毎日塾でテスト勉強ができる環境があったので、良かったです。

私は進路が決まった今、思うことが2つあります。1つ目は、計画的に勉強すれば学力は上がるということです。私は以前、英語が苦手でしたが、文法の復習など、毎日勉強したことで成績が上がりました。2つ目は「親への感謝」です。親のサポートがなかったら、学校見学などに行けていなかったと思います。たくさんけんかもしましたが、今思えば、しっかり話しをすることができてよかったと思います。

高校進学後は、ゼストで身につけた学習習慣を活かし、今では得意になった英語をさらに伸ばしていきたいです。また、大学では希望の学部に入れるよう、日々の勉強を頑張ります。